

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年10月25日

計画の名称	熊野町公共下水道（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	熊野町												
計画の目標	下水道ストックマネジメント計画を策定し、老朽化した施設の改築更新を実施することにより安全安心な地域づくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	102	A	102	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H32末)
1	①下水道ストックマネジメント計画を策定し、下水道管渠における調査実地を0%（H28当初）から100%（H29末）に向上させる。			
	①下水道管渠の管渠調査達成率 管渠調査済延長（km）／熊野団地内の管渠延長（km）	0%	100%	100%
2	②下水道管渠の対策工事を行うことにより、下水道管渠の改築達成率を0%（H30当初）から40%（H32末）に向上させる。			
	②下水道管渠の改築達成率 改築済延長（km）／改築予定延長（km）	0%	0%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

熊野町 建設農林部 上下水道課において実施

事後評価の実施時期

令和3年度10月（事業完了翌年度）

公表の方法

熊野町ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

①管内の取付管突出しや滞水箇所により、一部調査が実施できなかったが、計画調査延長10.96kmに対して10.85kmの調査を実施し、99%(H29末)の達成率となった。
②平成30年7月豪雨災害における、災害復旧工事の影響を受け、施工業者や工事材料の確保ができなかった。整備延長は0.56kmとなり、目標値の40%に対して、16%(R2(H32)末)の達成率に留まった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特になし。

○特記事項（今後の方針等）

①管内の取付管突出しや滞水箇所により、調査を実施できなかった原因の解消方法を検討し、全ての路線における管渠調査を実施する。
②平成30年7月豪雨災害における災害復旧工事が進捗し、施工業者や工事材料の確保が容易になってきたため、改築更新工事を執行し、進捗率の向上を目指す。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	管渠調査済延長(km)／熊野団地内の管渠延長(km)	
	最終目標値	100%
	最終実績値	99%
2	改築済延長(km)／改築予定延長(km)	
	最終目標値	40%
	最終実績値	16%